

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

心不全増悪に関連する過活動患者への活動量計を用いた指導がセルフケアに与える影響-Pilot Study-

研究期間：承認日～2026年8月31日

对象材料：

- ☐ 病理材料（対象臓器名： ）
☐ 生検材料（対象臓器名 ）
☐ 血液材料
☐ 遊離細胞
☒ その他（診療録および診療・治療上の検査・測定、問診で各種データを収集する ）
 上記材料の採取期間：承認日 　～　2025年3月31日

意義：

- ・心不全増悪の要因の 1 つとして過活動は 11%を占めると先行研究で報告されている（M Tsuchihashi,2000）。
- ・心不全の増悪因子は複数の因子が絡み合っていることが多いが、明らかに過活動が関与していると考えられる症例は少なからず経験する。
- ・しかし、過活動に対する対処法やセルフケアの指導方法は十分に確立されていない。
- ・活動量計は低身体活動を呈する症例に対して用いた報告は散見されるが、過活動を呈する症例に対して使用した報告は現時点で存在せず、その実態や臨床的意義は明らかにされていない。
- ・オムロンの活動量計（HJA-750C Active style Pro）は 10 秒ごとに歩行と生活活動を識別し、活動強度（METs）を測定可能である。

目的：本研究では、セルフケアが不十分な過活動傾向の心不全患者に対し、活動量計による客観的活動指標（METs・エクササイズ）と自覚症状（Borg Scale）を可視化・フィードバックすることで、セルフケア行動の改善を図ることを目的とする。

方法: 通常診療の範囲内で得られる基本情報や医学的情報を診療録より収集し、活動量やセルフケア行動に関する質問指標や活動量計を用いた身体活動・活動量を評価する。

個人情報の取り扱い: 患者様の個人情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用する。また、研究成果を理化学療法関連学会で発表するが、患者様個人を特定できる個人情報は含まない。

問い合わせ・苦情等の窓口：

750-8520

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 リハビリテーション部 月城 一志

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838